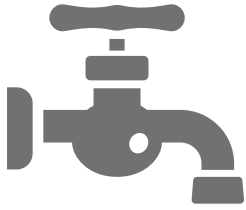
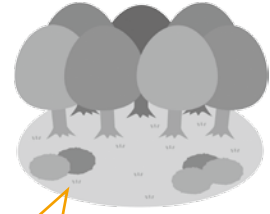


産業建設常任委員会の所管事務調査

令和3年4月30日実施



水道施設の
管理は



飲料水の確保には、自然の保水能力を備えた豊かな森林が必要です。

上水道事業は健全な経営を行っているが、水道管の老朽化が進んでおり、整備が待たれている。また、中山間部を含む簡易水道事業は、維持管理の費用が大きいため慢性的な赤字に陥っている。これらの費用を賄うために、水道料金は来年度より段階的に引き上げの予定である。

あわせて国の方針により、簡易水道事業が、公営企業会計へ移行する予定である。なお、上水道事業は既に公営企業会計である。

中央監視システム

配水量や配水池水位等を分ごとにリアルタイムで記録している。

異常を迅速に把握することで、漏水にも早い段階から対応できる。



根須簡易水道施設

クボタ環境サービスへ業務委託

山間部の水道施設管理は、災害時の対応などが技術職員不足のため困難になっていた。平成27年度からクボタ環境サービスへ施設管理業務を委託している。

受付・窓口業務やその他開閉栓業務等にも対応。



水道窓口業務

上水道の送配水管耐震化工事を計画



戸板島水源地

新町西町線の送配水管整備後は、戸板島の水源地から八王子の配水池への送配水管を耐震化するよう計画している。

大地震に備え、効果的な工事を検討していく。



八王子配水池